

2005年6月17日

兵庫県知事選挙 候補者

様

特定非営利活動法人 神戸の冬を支える会

理事長 森山 一弘

神戸市中央区中山手通 1-28-7

Tel : 078-271-7248

Fax : 078-271-3252

E-mail : kobe-fuyu@nifty.com

### 公開質問書

私たち「神戸の冬を支える会」は震災のあった1995年より、野宿生活を余儀なくされている方々の支援活動を行ってきています。当初は神戸市内を活動地域としてきておりましたが、2000年1月からは、尼崎市におきましても週1回の炊き出しを中心に支援活動を行ってきており、姫路や西宮などの県下の他の都市におきましても種々の相談を受けています。また、昨年10月には特定非営利活動法人格を取得し現在に至っております。

ご承知のように「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法（以下、法と略す）」が2002年8月に公布施行され、昨年7月には「兵庫県ホームレスの自立の支援等に関する実施計画（以下、実施計画と略す）」が策定されました。この実施計画の策定過程においては、私たち神戸の冬を支える会も「兵庫県ホームレス自立支援対策連絡協議会（以下、協議会と略す）」のメンバーとして支援活動の経験を踏まえた意見を述べさせていただく機会を実施計画策定に少しは寄与することができたものと考えます。

しかし、実施計画の策定から1年が経ちますが、野宿者が野宿生活から脱却できるような新たな支援施策は具体化していません。特に阪神間における野宿者の増大については憂慮すべきもので、県及び当該自治体が連携してすみやかに支援施策の実現に向け、具体的な作業に入る必要があります（実施計画P22 5-(1)(2)。同様に法第5条及び第6条には、国・地方公共団体の責務が示されています）。もちろん民間団体として私たちも持っている能力を発揮していきたいと考えておりますが、地方公共団体が主導的にその責務を果たすべきと考えます。そのためにも地方公共団体における首長の果たすべき役割は重要なものと考えます。

限られた選挙期間のお忙しい中、次の質問項目について6月30日までにご回答いただきますようお願いいたします。

## 質 問 項 目

- 1 現在の兵庫県下における野宿者の状況についてどのように考えられておられるのかお答え下さい。
- 2 実施計画に沿ってどのような具体的な支援施策を行おうと考えられているのかお答え下さい。
- 3 野宿からの脱却、そして野宿化の予防策として雇用対策が重要と考えます。どのように考えられているのかお答え下さい。
- 4 若年層、および女性の野宿者が増加傾向にあるように思えます。新たな発想でその支援策を構築する必要があると考えます。どのように考えられているのかお答え下さい。
- 5 野宿者問題の解決のために生活保護制度が果たす役割は極めて重要なものがあります。しかし、住居が無ければ保護は適用しないという違法な運用が残念ながらいまだに存在しており、その是正は緊急の課題と考えています。生活保護行政において今後どのようなことが必要と考えられているのかお答え下さい。

お寄せいただきました回答につきましては、マスコミ各社宛にお送りするとともに、私たちのホームページ（<http://www.kobe-fuyu.sakura.ne.jp>）で公開させていただきます。

なお、この公開質問書に関しましてご質問等ございましたら、特定非営利活動法人「神戸の冬を支える会」事務局（担当：青木）までお問い合わせ下さい。